

晴田の息吹 vol.2



平成27年11月24日 No. 17 校長 池上

みんなの心をつなぐ 晴田小人権フェスタ

今月7日(土)の人権フェスタには、たくさんの方(保護者230名)に参加いただき、本当にありがとうございました。この人権フェスタは毎年実施しており、晴田小の人権教育を見直しながら、子どもたちの人権感覚を高めていくための大切な取り組みです。

1校時目は全クラスで人権学習を実施しています。「わたたかびん(1年)」「心ないことば(3年)」「差別を考える(5年)」などの題材をもとに、今の自分、これからの自分を保護者の方と一緒に見つめ直しています。

2校時目は人権集会。今年は3年生が代表で発表です。テーマは、『心をつなげよう』です。これまでの学校生活での体験をもとに、「相手の立場に立つということはどんなことなのか。」「心をつなげて仲良く生活していくためには、相手とのどのような関わり方が大切なのか。」ということ、真剣に考えてくれています。全校のみんなを前にして、大きな声で、堂々と発表してくれた3年生でした。このことは、以下の保護者アンケートの内容からも感じ取れます。



「みんな大きな声で、今まで学習してきたことを分かり易く発表できたと思います。身近にいる方たちから聞いたり調べたりして、世の中にはいろいろな人がいるということに気づき、ともに生きるためにはどう行動したらよいかを考えられたこと、素晴らしいことだと思いました。私たち大人も、分かっているけどつい忘れがちな『自分さえよければ』的行動や考えを反省しなければと思います。」



3校時目は講演会。講師は後藤政幸さんです。岐阜県の方で、片足を無くす事故にあった経験をもとに、『だいじょうぶだいじょうぶみんなだいすきだから』の手作り絵本を手にして講演活動をなさっています。後藤さんは、子どもたちと正面から向き合って本音で語りかけてくれます。講演の最後には、次のようなメッセージを残されました。「全ての人の心には、愛(思いやり)という太陽がある。愛があれば(互いにその愛を感じとることができれば)、どんな状況でも幸せを感じとることができる。」以下に保護者アンケートを紹介します。

「実際に片足を無くされた方とお話する機会が持てて、子どもたちもよい経験ができたと思います。『可哀想だ』と思いがちだった気持ちを断ってもらったように思います。それぞれが個性だと思えば偏見がなくなると思いました。私たちにとってすごく貴重なお話が聞けました。ありがとうございました。困られているときにそっと手をさしのべられるような人になりたいと、改めて思いました。」

以前紹介しましたが、後藤さんからは、『だいじょうぶだいじょうぶみんなだいすきだから』をテーマとした、大きな「ちぎり絵」を本校にプレゼントしていただいています。(児童玄関正面に掲示しています。)子どもたちは、毎日この「ちぎり絵」を見ながら、互いのつながりや思いやりの大切さ、愛という太陽の輝きを感じとってくれることと思います。

また今回は、『おほしさまにねがいを』というA4版の新しい絵本を、全校児童ひとり一人にいただいています。すでに子どもたちは持ち帰っていますので、よろしかったら、保護者の方もお子さんと一緒にお読み下さい。心温まる絵本です。

後藤さん。本当にありがとうございました。